

議会から こんにちは

10月2日、田沼グリーンスポーツセンターにて佐野市総合防災訓練が行われました。幼年消防クラブも防災への呼びかけとして防災演技を行いました。



2016 **11.1**
平成28年



さの 市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

平成28年9月定例会

- 平成27年度決算を認定
- 決算審査特別委員会では延べ26人が質疑
- 一般質問に18人が登壇

▼佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。

佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索



平成27年度 一般会計、各特別会計、水道事業会計、病院事業会計決算を認定

決算審査特別委員会 (パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます!)



副委員長
川嶋 嘉一



委員長
山菅 直己

9月定例会には、平成27年度一般会計、各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月15日、16日、20日、21日の4日間にわたり審査を行いました。

委員会では一般会計16名、各特別会計等10名の委員により質疑が行われました。審査の結果、決算審査要望書を市当局に提出しました。(議決の結果はP 4)

平成27年度 決算の概要

●一般会計及び特別会計

(1万円未満四捨五入)

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額	
一般会計	563億 505万円	547億7,785万円	520億1,780万円	27億6,005万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	163億9,389万円	167億6,796万円	157億2,907万円	10億3,889万円
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	3億 498万円	2億7,450万円	2億7,350万円	100万円
	公共下水道	34億3,777万円	34億 43万円	32億 521万円	1億9,522万円
	農業集落排水	1億7,154万円	1億7,509万円	1億5,985万円	1,524万円
	自家用有償バス	1億7,776万円	1億7,345万円	1億7,315万円	30万円
	介護保険(保険事業勘定)	106億4,861万円	103億9,021万円	101億5,649万円	2億3,372万円
	介護保険(介護サービス事業勘定)	6,729万円	6,543万円	6,543万円	0万円
	後期高齢者医療	12億2,082万円	12億1,331万円	12億1,258万円	73万円
	佐野田沼インター産業団地造成事業	4億4,878万円	4億4,710万円	4億4,710万円	0万円
	西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業	1億5,329万円	1億4,279万円	1億4,278万円	1万円
小計	330億2,473万円	330億5,027万円	315億6,517万円	14億8,510万円	
合計	893億2,978万円	878億2,812万円	835億8,297万円	42億4,515万円	

(注)各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計の欄については実際の数値と異なることがあります。

●公営企業会計

(1万円未満四捨五入)

区分	予算額	決算額	
水道事業会計	収益的収入	23億6,236万円	24億1,807万円
	収益的支出	21億3,036万円	20億 944万円
	資本的収入	7億2,431万円	7億2,230万円
	資本的支出	20億1,511万円	18億1,345万円
病院事業会計	収益的収入	10億1,195万円	10億1,009万円
	収益的支出	10億1,195万円	10億 865万円
	資本的収入	1億4,515万円	1億4,329万円
	資本的支出	2億4,750万円	2億4,735万円



平成27年度決算審査要望書

- 1 本市をはじめ多くの自治体では、生産年齢人口の減少による税収の伸び悩み、合併特例措置の段階的縮小等による地方交付税の減少、急激な高齢化による社会保障関係経費の増加などにより、今後も厳しい財政状況が続くことが予想される。こうした状況の下、本市は行政改革大綱に基づき着実に行政改革を推進し、一定の成果を上げてきた。第3次行政改革大綱に掲げたとおり、今後も、これまで以上に選択と集中を徹底し、不断の行政改革に取り組まれない。
- 2 平成27年12月に、佐野市総合計画の中から、特に地方創生を推進し、人口減少の克服に効果のある取組をまとめた「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。基本目標の数値目標及び各施策の重要業績評価指標の達成度を検証し、改善を図りながら、本市の人口減少に歯止めをかけ、地域が活性化するように努められたい。
- 3 市有施設のあり方については、現在、市有施設適正配置計画を策定中である。この計画策定に当たっては、人口動態や社会環境の変化、市民ニーズの多様化等を踏まえ、廃止、用途変更、統合、民間移譲、機能移転など、幅広い視点に立って総合的に手法を検討されたい。また、施設の再編等を具体的に進める際は、市民への説明を十分に行い、理解を得ることが必要であることから、その点も十分に考慮されたい。
- 4 関東・東北豪雨からの復旧が道半ばの中、本年も、4月には熊本地震、8月・9月には台風等による自然災害が本市も含め全国各地で相次いで発生した。
本市が大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報に対し、迅速に災害警戒本部を設置して警戒に当たっていることは敬意を表するところであるが、今後は、災害警戒本部の活動及び災害復旧活動等を通して得た教訓をタイムラインに取り入れ、市民の安全安心を第一に考え、より実践的な災害対策に取り組まれない。
- 5 子育て支援策として、待機児童対策(小規模保育所や認定こども園の整備、臨時保育士の処遇改善)やこどもクラブの整備が具現化されはじめたことは、大いに評価するところである。今後は、子ども・子育て支援新制度の下で、複雑化、多様化する保育ニーズを見極めながら、民間活力の導入も含め、柔軟かつ迅速に保育環境の整備を進めるとともに、引き続きこどもクラブの整備を図られたい。
- 6 本市を含む地域社会では、少子高齢化による人口構造の変化と併せ、これまで経験したことのない急激な社会環境の変化が見込まれている。こうした状況の下、少子化と高齢化による各世代の課題の解決に向けては、少子高齢化が世代間の複合的な課題であるとの認識を持ち、佐野市人口ビジョンに定めた人口目標を実現するため、各種施策の実施に当たっては、均衡のとれた政策対応を図られたい。
- 7 新庁舎の開庁に伴い、中心市街地への人の流れが進んでいる。この好機を活かし、さのまちづくり株式会社と連携しながら、より一層のまちなかの賑わい創出及び活性化を図り、中心市街地の定住人口及び交流人口の増加に努められたい。
- 8 人口減少と少子高齢化が同時進行する中で、田沼西地区、葛生地区及び赤見地区で小中一貫校の設置が計画されているが、その執行に当たっては、児童生徒、保護者、地域及び学校の意見を十分聴聞して進められたい。また、教員の資質向上、スキルアップ等を図り、本市の児童生徒が、学力・体力とも全国に誇れ、明日の佐野市を担える人材となるよう努められたい。さらに、教育施設の老朽化対策も進められたい。
- 9 国民健康保険事業については、被保険者の高齢化、医療の高度化による医療費の高騰、所得水準の低さなどの構造的な問題により、本市も厳しい財政運営を強いられている。こうした状況を踏まえ、現在、財政運営の広域化が進められているが、事業の安定化を図るための奇策はないため、本市は、健康寿命の延伸に向けた取組、保健事業(特定健康診査・特定保健指導等)の実施、ジェネリック医薬品の普及促進、そして保険税徴収率向上対策などを着実に実施されたい。
- 10 水道事業については、老朽化している配管の計画的な更新を進めるとともに、水道料金の収納率向上を図られたい。下水道事業については、経営基盤の強化及び財政マネジメントの向上に的確に取り組むための公営企業会計への移行を遅滞なく推進されたい。



金子 保利 議員(政風会)

質問方式 一問一答
消防行政について

Q 消防力の整備指針とは、市町村が火災の予防、警戒、鎮圧、救急業務、人命救助、災害応急対策等を確実に遂行するために必要な施設、人員を整備するものであるが、本市では確保されているのか。

A 消防長

本市の消防力を国の基準で算定しますと、消防署所の数では、整備指針では5署のところ3署、消防車両5台のところ3台ですので、充足率が91.7%、消防職員数算定数は192名のところ150名ですので充足率78.1%です。

どこの消防機関におきましても、所有する車両を運用するための最小限の人員で消防活動を実施しておりますが、近年多発している風水害や、首都直下型地震などを考慮しますと、さらなる消防力の強化が必要であると考えられます。

その他の質問

☆自転車保険義務化について



▲ 佐野市消防署(佐野市消防本部)



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

質問方式 一問一答
観光立市の推進について

Q 積極的にインバウンド観光を取り込み、目標の入り込み客数1千万人に少しでも近づけるということであったが、その方向性をどのように考えるか。また、訪日ムスリムインバウンド推進事業の今後の具体的計画を伺いたい。

A 観光スポーツ部長

本市のインバウンド観光の方向性は、東京からの観光ルートの一部として誘客を図ってまいります。具体的には、クリケットをはじめとするスポーツツーリズムの推進により生み出される観光客、他市町村との差別化を図るためにイスラム教徒でありますムスリムに特化した誘客を積極的に取り組んでまいります。10月にジャカルタで開催される旅行展「グローバルラベルフェア」、「国際イスラミックエキスポ」において、11月出発からのパッケージツアーが発売される予定です。

その他の質問

☆天明鑄物のまちづくりについて
☆AEDの普及促進について

※インバウンド観光、ムスリム、スポーツツーリズムとは・・・

- ・インバウンド観光…訪日外国人旅行のこと
- ・ムスリム…「(神に)帰依する者」を意味するアラビア語で、イスラム教の教徒のこと。
- ・スポーツツーリズム…プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取り組み。



木村 久雄 議員(公明党議員会)

質問方式 一問一答
投票率の向上について

Q 平成29年の佐野市長選挙・市議会議員選挙を考慮し、投票所入場券に投票紙の宣誓書兼請求書を印刷することで期日前投票の受付の円滑化を図れないものか伺いたい。

A 選挙管理委員会書記長

最近の選挙人の投票行動の特徴として、期日前投票の利用者が増加していることが挙げられます。投票所入場券に宣誓書兼請求書を印刷し、郵送することは、投票しやすい環境づくりという観点から選挙人の利便性向上につながるものと考えられますので、費用面の問題など多方面から検討します。

その他の質問

☆竹の有効活用について
☆メンタルヘルスケアについて
☆市民サービスの向上について





横田 誠議員(新風)

質問方式 一問一答
中学校の
学校運営について

Q 今や自治体主導で、運動部活動に特化したスポーツ*指導者バンクを設立している所が増えてきている。本市の教育大綱においては、部活動の指導者バンクの導入を進めるとあり、早急に制度化する事が必要と考えるが、部活動指導者バンクについての見解と導入までの道筋を伺いたい。

A 教育長

部活動の指導者バンク導入は、外部指導者の有効な活用を図るためには、効果的手段であると考えます。

現在、各校に派遣している外部指導者や県のスポーツリーダーバンク、市の学校支援ボランティアに登録されている方々から、部活動指導者バンクに登録していただける方を探すとともに、部活動指導者を公募するなど、関係各課と連携を図りながら、学校が活用しやすい部活動指導者バンクの導入を進めていきたいと考えております。

その他の質問

☆中山間地域のセーフティネットについて

※指導者バンクとは・・・

資格を有している方や、その種目で熟練された指導者を紹介・派遣する制度。



高橋 功議員(自民佐野)

質問方式 一問一答
豊かな
森林資源の活用と
木育について

Q *森林認証を取得した認証材は間もなくスタンダードになることを考えると、市が主体となって、組織をまとめて認証制を取得させるような動きにしているかというような考え方が必要かと思うがどうか。

A 産業文化部長

組織で森林認証を取得するためには、組織形成のために、森林所有者や製材業者、林業関係者などの組織参加が想定される方を対象にした森林認証の勉強会の開催や、意見交換など段階的な準備が必要となつてきます。市としては、県などとも連携し、先進地の取り組み事例など情報収集をしながら、勉強会などの開催を検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆改正農業委員会法と課税強化について

※森林認証とは・・・

独立した第三者機関が一定の基準等を基に、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを認証し、それらの森林から生産された木材・木材製品へラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取り組み。



山菅 直己議員(政友みらい)

質問方式 一問一答
スポーツ立市
について

Q 佐野市国際クリケット場の整備状況と今後の活用について伺いたい。

A 市長

クリケット場の整備状況については、平成26年4月に県から旧田沼高校の譲渡を受け、以降グラウンド部分においては日本クリケット協会が草刈りや芝の育成、散水等による維持管理を行ってきました。また、国内随一の練習用ピッチを整備し、投球と打撃の練習を効率よく行う環境が整ったところです。

今後の整備については、地方創生推進交付金を活用し、数年かけてグラウンドの改良やクラブハウスの整備などを進めていきたいと考えています。

クリケットを本市が日本の先頭に立って推進することは、交流人口の増加や国際交流の推進、地域経済の活性化といったまちづくりに大きなインパクトを残すことができると期待しています。

その他の質問

☆防災対策について
☆空き家対策について
☆佐野市きれいなまちづくり推進条例について



▲ クリケット



鈴木 靖宏 議員(自民佐野)

質問方式 一問一答
保育園の諸問題について

Q 発達障害児が増えているようなデータがあるが、※すこやか保育を今後どのように対応していくのか。

A ことども福祉部長
現在保育士を加配して、個別の指導計画を立てて保育しており、このうち約80%の児童が週1回程度の療育支援を受けていますが、やはり早期に適切な支援を受けることが重要と考えます。そのため、健康増進課では乳幼児健診や発達相談により早期発見に努めており、保育園でも入園申込みの際に発達障害などが疑われる場合や、入園後にそのような傾向がみられた場合は、医師や関係部署と連携し、すこやか保育を受けられるよう対応しています。

その他の質問
☆界小学校施設整備について

※すこやか保育とは・・・
児童の障がいの程度又は発育若しくは発達の段階に応じた支援及び保育のこと。



藤沼 一弘 議員

質問方式 一括質問 一括答弁
※骨髄バンクについて

Q 佐野市内の骨髄提供者いわゆるドナーに対し、市として条例や規則を制定し、支援すべきと考えるが見解を伺いたい。

A 健康医療部長
骨髄移植が必要な方が見つかった際、ドナーについては骨髄提供のため仕事を休み、何日かは入院することになりますので、その辺の心身の負担が軽減されるような支援について、平成29年度からの実施を検討しているところです。また、要綱の整備については、ドナー本人に対する支援とあわせて、事業者への支援も検討しており、金額的なものについては他市の状況を参考に今後整備していきたいと考えています。

その他の質問
☆子どもの貧困問題について
☆フードバンクについて

※骨髄バンクとは・・・
骨髄バンクとは骨髄移植を希望する患者さんのために、健康な人(非血縁者)のHLAデータ(ヒトの免疫に関わる重要な分子)をあらかじめ調べて登録しておく公的機関。



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

質問方式 一問一答
教員の労働環境の改善について

Q 健康障害のリスクが高まるとされる時間外労働の過労死ラインが月平均80時間以上と言われている。身体的ストレス、精神的ストレスの対応が必要だと考える。50人以下の事業所では、対象外の教員1人1人のストレスチェックを教育委員会全体を1つの企業として検討すべきと質問したが、その後の検討状況を伺いたい。

A 教育長
ストレスチェックを実施する場合は特定の学校ではなく、全教職員を対象にすべきだと考えています。現在、平成29年度の実施を目的にし、教育委員会で研究を進めているところです。

その他の質問
☆葛生地区公民館について





田所 良夫 議員(新風)

質問方式 一問一答
本市の文化財・史跡、歴史遺産等について

Q 豊臣秀吉とも深いかわりを持ち、小田原の北条氏との戦いに、先鋒として軍功を立てた天徳寺宝衍の歴史的存在価値及び赤見城との関係を伺いたい。

A 教育総務部長

天徳寺宝衍は、戦国時代の唐沢山城主、佐野昌綱の弟とされ、秀吉の小田原攻めでは、忍城攻めにも参陣したとされます。その功績で秀吉から佐野領を安堵されており、佐野家の再興と存続を担った人物として高く評価できると考えます。

また、赤見城との関係は、秀吉の小田原攻めの前年、天徳寺が赤見城に入り、「義故を糾合す」とあり、ゆかりの仲間を集ったことや、佐野家の家督を譲った2年後に赤見町屋で庵を営んだことが記してあり、1601年に亡くなり山形の報恩寺に葬られたと記されており、ゆかりの深い地であったとわかります。

その他の質問
☆観光立市について



▲天徳寺宝衍(佐野房綱)の墓所



飯田 昌弘 議員(自民佐野)

質問方式 一問一答
待機児童と保留児童の現状と解消策について

Q 待機児童の多かった市町においては、保育士の給料に上乘せや、家賃の補助、独自の処遇改善を約4割の市町が実施していると報じられている。今年度中にできる処遇改善策を伺いたい。

A 一こども福祉部長

公立保育園の保育士確保を図るため、今年度臨時保育士の処遇を改善し、人材の確保に努めます。現在の報酬額が月額で一律8,700円を10月の給与から経験と職責を加味し、9,000円から1万円の範囲に増額します。短時間勤務の保育士は、現在の時給990円を1,100円に増額します。

また、今年度退職する保育士資格を有する職員を再任用で勤務いただくようお願いいたします。

その他の質問
☆新規がん患者101万200人に対する対応策について
☆インフラ整備と防災対策について

※待機児童と保留児童の違いとは・・・
保留児童は保育所の入所申し込みをしていて、入所要件に該当しているが、入所出来なかった児童のこと。待機児童は保留児童うち、求職活動を休止しているなどの除外要件に該当する児童を除いたもの。



亀山 春夫 議員(政友みらい)

質問方式 一問一答
農地バンクについて

Q 農地中間管理機構では地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金などあるようだが、具体的にはどのようなことか伺いたい。

A 産業文化部長

地域集積協力金とは、地域の農用地区域内の農地面積の内、一定割合以上を機構に貸し付けた場合に、当該区域に対して支払われるものです。経営転換協力金とは、離農などをきっかけに、機構へ農地を貸し付けることにより、担い手への農地の集積や集約に協力してもらう場合に、農地の出し手に対して支払われるものです。耕作者集積協力金とは、担い手の耕作する農地に隣接する農地を機構へ貸し付けることにより、担い手の農地の集約化に協力してもらう場合に、農地の出し手に支払われるものです。

その他の質問
☆農家民泊について
☆鳥獣対策について

※農地バンクとは・・・
農地バンクとは、貸したい・売りたい農地を集め、借りたい・買いたい農業経営者に提供していく仕組みで、都道府県別に設置された農地中間管理機構が担っている。



川嶋 嘉一 議員(政風会)
 本市の奨学金制度
 について

Q 国は給付型の奨学金を検討している。地方創生の観点から、将来の人口減少対策として、本市への定住を目的とした給付型の奨学金を検討できないか。例えば、大学や専門学校等を卒業後、本市に5年間以上就職や在住する場合は奨学金の返還を免除するような制度があっても良いと思うが、いかがか。

A 教育総務部長

定住を目的とした給付型奨学金は現在、国において給付型奨学金制度の創設に向けた検討チームを設置し、具体的な制度設計の議論をしているところです。今後、国の動向を注視するとともに、他市の状況を踏まえながら検討していきたいと考えています。

また、奨学金返還免除については、現在本市では奨学金貸与事業と奨学金返還助成事業を行っておりますので、これらの事業実績や有効性を踏まえながら、総合的に検討していきたいと思っております。

その他の質問

☆英語教育について
 ☆市からの補助金等
 について



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)
 市民病院の
 民間譲渡方針について

Q 地域の中で重要な役割を果たしてきた市民病院の民間譲渡は、市民にとって安心できる地域医療に向かうとは考えにくい。当局の考えを伺いたい。

A 健康医療部長

今後市民に良質な医療を提供し、地域の中核病院として存続していくためには、市からの財政負担を軽減できるようなより健全な病院経営を目指す必要があること、経営責任が明確となり、医療法人としてのノウハウを発揮してより効率的な経営を目指すこと、また昨今の医療政策の変化や地域住民の医療需要の変動に対し、迅速な対応が可能となることなどの理由から、よりよい経営形態を様々な方向から検討した結果、民設民営の方針を定めました。引き続き地域医療の中核病院としての市民の安心安全を守っていききたいと考えています。

その他の質問

☆保育園について
 ☆学校給食センターの
 調理業務・配送業務
 の委託について



▲ 市民病院



久保 貴洋 議員(自民佐野)
 小中一貫校について

Q 田沼西地区小中一貫校開校に向けての基本方針の中から、平成28年度中に施設設計とあるが、現在までの進捗状況と今後のスケジュールを伺いたい。

A 教育総務部長

今後のスケジュールは設計業者が決まり次第、基本設計及び実施設計を行います。平成29年度中に工事に取りかかり、31年末までには整備を終え、32年3月までの期間を開校に向けた準備期間と考えています。また、学校運営についても開校準備委員会等で順次協議を行い、32年4月に無事開校を迎えられるよう努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆まちなか活性化について
 ☆佐野市の魅力度アップについて



▲ 田沼西中学校(現在)



青木 伸 議員(政風会)

質問方式 一問一答
佐野市の地産地消政策について

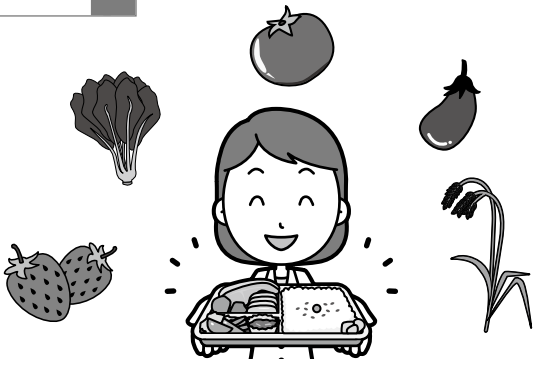
Q 地産地消について、地方創生の観点からも条例を制定して力を入れていく自治体が多くある。地産地消条例を作ることで、色々な効果がうまれてくると考えるが、市の見解を伺いたい。

A 産業文化部長

条例において、市、生産者、消費者、事業者など、それぞれの役割を定めることにより、地産地消について、市民一人一人の意識を高めることにつながるものと考えています。県内では宇都宮市や小山市など条例化した例がありますので、どのような効果があったのか等を検証したうえで、条例化について検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市管内土地の不
明及び不審地主の把握について



齋藤 弘 議員(政友みらい)

質問方式 一問一答
コンピュータを活用した教育について

Q プログラミング教育とは具体的にどのような教育方法か。また、次期学習指導要領で各教科に採り入れとあるが、それはいつ頃になると考えているのか。

A 教育長

小学校では、算数科で筆算の学習など、手順を考えるような学習で、プログラミング的思考の素地を学んでいます。中学校では、既に現行の学習指導要領の中で、技術・家庭科において情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できることを指導しています。

採り入れる時期は、前回改定時のスケジュールを踏まえた場合、平成30年度から試行に入り、教科書の策定及び検定採択等を経て、小学校は32年度から、中学校は33年度から全面实施になると考えられます。

その他の質問

☆災害弱者の支援計画について
☆銀行と自治体の包括連携協定について
☆災害協定を踏まえてドローンの安全対策と活用について



菅原 達 議員(公明党議員会)

質問方式 一問一答
保育サービスの充実について

Q 市民から、土曜日の保育時間を夕方まで延長して欲しいとの要望があるが、その必要性をどのように認識しているのか。他市では柔軟に対応している園もあり、需要の高いエリアの園からでも実施すべきと考えるが、いかがか。

A こども福祉部長

ニーズ調査の結果、土曜日の利用希望者が多いということは認識しています。保育士不足の折、短時間保育士も確保が困難な状況です。サービス拡充により利用者が増えた場合、さらに保育士を確保する必要がありますので、まずは通常保育を担う保育士を充足したうえで、実施について検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆介護サービスにおける課題について



平成28年第3回佐野市議会定例会 審議された議案等と結果

9月定例会は9月2日(金)から9月26日(月)までの25日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件名(主旨)	議決結果	
意見書案第1号	川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書について	原案可決	全会一致
議員案第1号	佐野市議会議員定数条例の改正について(佐野市議会議員の議員の定数を改めるため)	原案可決	賛成多数
報告第12号	株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類の提出について	報告	—
報告第13号	継続費精算報告書の提出について(新庁舎建設事業及び消防救急デジタル無線等整備事業の完了による報告)	報告	—
報告第14号	平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	—
報告第15号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報告第16号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
議案第74号	人権擁護委員候補者の推薦について(新たに大関輝雄氏を推薦するもの)	推薦同意	全会一致
議案第75号	人権擁護委員候補者の推薦について(新たに尾花淳美氏を推薦するもの)	推薦同意	全会一致
議案第76号	人権擁護委員候補者の推薦について(新たに兵藤勇氏を推薦するもの)	推薦同意	全会一致
議案第77号	佐野市部及び行政機関等設置条例の改正について(田沼行政センター及び葛生行政センターを移転するため)	原案可決	全会一致
議案第78号	佐野市男女共同参画推進センター条例の改正について(佐野市男女共同参画推進センターを移転するため)	原案可決	全会一致
議案第79号	佐野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について(診療所医師の報酬額及び支給期日を改めるため)	原案可決	全会一致
議案第80号	佐野市税条例の改正について(地方税法等の改正に伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議案第81号	佐野市図書館条例の改正について(佐野市立葛生図書館を移転するため)	原案可決	全会一致
議案第82号	佐野インランドポート建築工事請負契約について(佐野インランドポート建築工事を執行するため)	原案可決	賛成多数
議案第83号	大型荷役機械の取得について(佐野インランドポートの大型荷役機械を取得するため)	原案可決	賛成多数
議案第84号	損害賠償の額の決定及び和解について(平成25年11月18日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解するため)	原案可決	全会一致
議案第98号	平成28年度佐野市一般会計補正予算(第2号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,920,723千円を追加並びに継続費及び地方債の補正)	原案可決	全会一致
議案第99号	平成28年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ808,165千円を追加するもの)	原案可決	全会一致
議案第100号	平成28年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,262千円を追加するもの)	原案可決	全会一致
議案第101号	平成28年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,591千円を追加するもの)	原案可決	全会一致

議案番号等	件名(主旨)	議決結果	
議案第102号	平成28年度佐野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) (歳入予算の款項の金額を変更するもの)	原案可決	全会一致
議案第103号	平成28年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算 (第1号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ234,502千円を追加するもの)	原案可決	全会一致
議案第104号	平成28年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ734千円を追加するもの)	原案可決	全会一致
議案第105号	平成28年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)(歳入予算の款項の金額を変更するもの及び地方債の補正)	原案可決	全会一致
議案第106号	平成28年度佐野市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
陳情第1号	「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情	採 択	全会一致

※議案第85号から第97号までは決算審査特別委員会に付託された議案であるためP4に掲載しています。

賛否がわかれた議案等

議決結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
			齋藤弘	亀山春夫	菅原久達	木村久雄	久保貴洋	鈴木靖宏	川嶋嘉一	青木伸誠	横田弘	藤沼一弘	小暮博志	井川克彦	若田部治彦	本郷淳一	飯田昌弘	高橋功利	金子保孝	山口孝夫	田所良明	春山敏世	篠原直己	山菅圭吾	大川圭雄	藤倉義子	岡村恵子	鶴見義明
議員案第1号	原案可決 (賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	原案可決 (賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	原案可決 (賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対

※議長(篠原一世)は採決に加わりません。

12月定例会日程(案)

平成28年第4回定例会の日程は、11月25日(金)の議会運営委員会で内定し、12月2日(金)の本会議で決定します。

※日程は変更になることがあります。

月	日	開会時間	会議内容
11月	22日(火)	—	請願、陳情提出期限(17:00)
	23日(祝)	—	
	24日(木)	—	
	25日(金)	10:00	議会運営委員会
	26日(土)	—	
	27日(日)	—	
	28日(月)	—	
	29日(火)	—	
	30日(水)	—	

月	日	開会時間	会議内容
12月	1日(木)	—	
	2日(金)	10:00	本会議(議案説明)
	3日(土)	—	休会
	4日(日)	—	休会
	5日(月)	—	休会
	6日(火)	10:00	本会議(議案質疑、討論、表決)
	7日(水)	10:00	本会議(一般質問)
	8日(木)	10:00	本会議(一般質問)
	9日(金)	10:00	本会議(一般質問)
	10日(土)	—	休会
	11日(日)	—	休会
	12日(月)	9:00 13:30	建設常任委員会 厚生常任委員会
	13日(火)	9:00 13:30	経済文教常任委員会 総務常任委員会
	14日(水)	—	休会
	15日(木)	—	休会
	16日(金)	10:00	本会議(委員長報告、質疑、討論、表決)

議員定数2人減(26人→24人)を賛成多数で可決

来年4月に予定されている市議会議員選挙から24人になります。

議員定数のあり方については、本年3月に議員で構成する議員定数等検討委員会を設置し、本市と人口規模や産業構造の近い栃木県、茨城県、群馬県及び埼玉県の市議会などと比較検討を行い、同委員会でも6回にわたり協議を重ねた結果、2人削減し、24人とすることが妥当であるとなりました。

議員定数を24人とする佐野市議会議員定数条例の改正については、議員案として9月定例会の初日(9月2日)に提出し、9月6日に賛成多数で可決されました。

陳情・意見書案の審査結果

陳情第1号

「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情

(平成28年5月9日受理)

▼提出者

川の日を国民の祝日にしよう会 会長 桑原 史朗

▼陳情の趣旨

川の恩恵を享受していることに感謝する日、一人一人が川の大切さを考え直すキッカケの記念日として国民の祝日にすること求めます。

▼審査結果

本陳情は6月定例会において総務常任委員会に付託審査され、継続審査になっていましたが、9月定例会において再度付託審査され、採択になりました。本会議においても、同委員会の決定に全議員が賛成し採択になりました。

意見書案1号

川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書について

9月定例会において、(提出者)本郷淳一議員、(賛成者)久保貴洋議員、山口孝議員、春山敏明議員、亀山春夫議員による川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書(案)が提出され、議員全員の賛成により可決されました。意見書は佐野市議会として内閣総理大臣、国土交通大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長及び栃木県知事に提出しました。

川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書

身近な川と遊び親しみ、自然の大切さを学び、川の恩恵に感謝する記念日として、「川の日」を国民の祝日に定めることを求める理由は下記のとおりである。

記

- 1 川は山の湧水から生まれ、生命体の命の水となって海へ流れ込んでいく。その古から変わることのない営み(生活の知恵)が自然環境生態系を創り出しており、我々の日々の暮らしと切っても切れない自然美豊かな川との付き合いによって、大きな恩恵を享受していることを感謝するため。
- 2 油断をしないで、突然の川の猛威(自然の力)への対策を怠らずに、常日頃から川の恐ろしさを学習する日、その一方で大切な川(自然)の保護と防災、そして利水・治水を有効に活用するため官民一体となり対策に万全を期するため。
- 3 川に流れる水の恩恵を受けて、希少価値の小さな命が懸命に生きている姿を見て、我々は勇気と元気を貰っている。そのような自然環境を守り育てるため。
以上のように、「川の日」を川の恩恵を享受していることに感謝する日、そして一人一人が川の大切さを考え直すきっかけの日となるよう、国民の祝日に制定することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年9月6日
佐野市議会

田沼行政センター及び葛生行政センターのご案内

田沼行政センターと葛生行政センターが移転します。

- ・ 田沼行政センターは旧田沼庁舎の新館を改修し、11月28日（月）に開所します。
- ・ 葛生行政センターは旧葛生庁舎を解体して同じ場所に建設しており、12月5日（月）に開所します。

田沼行政センター

建物概要

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建
延床面積 1315.08㎡

主なフロア案内

- 1階 田沼行政センター（窓口業務）、水道局北部営業所
- 2階 人権・男女共同参画課、文化財課、農山村振興課、会議室
- 3階 大会議室



※完成イメージ図

葛生行政センター

建物概要

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建
延床面積1049.32㎡

主なフロア案内

- 1階 葛生行政センター（窓口業務）、葛生図書館、授乳室
- 2階 書庫、倉庫

11月23日(水)に葛生行政センターの内覧会を行いますので、ぜひ、お越しください!

あ
と
が
き

今年、思いもよらなかつた地域での地震発生や例をみない動きの台風など、今までにない変化が起こり、被害が発生しました。

平成27年度は、新庁舎や新消防庁舎の完成等があり、最大規模の決算となりました。また、議員定数も検討・見直しがなされ、平成29年度から、24名の最小議員数となります。

この様な大きな変化の中で、議員も一層勉強していかなければならないと考えております。皆様の、ご鞭撻よろしく願います。
(小暮博志)

編集委員会

委員長 井川 克彦
委員 本郷 淳一
委員 小暮 博志
委員 大川 圭吾
委員 鈴木 靖宏

議会事務局

TEL 20-3036
FAX 21-4411